

「福井県文化振興プラン（仮称）」（案）に関する
県民パブリックコメント意見募集の結果と県の考え方

全般

No	意見	意見に対する県の考え方
1	<p>計画策定の趣旨について、「人を惹きつける“福井らしさをさらに磨き上げ、グローバルに発信し、国内外からの誘客につなげていきます。」とあるが、文化芸術基本法の理念に基づくと、文化芸術は様々な分野と連携しながら、共に価値をつくっていくのであれば、文化芸術の振興が誘客につながるというのは、時代に逆行していると感じる。「誘客」よりも「創客」ではないか。</p>	<p>様々な有形・無形の文化資源が“福井らしさ”を表すものとして、保存・継承すること、また、これらをさらに磨き上げ、新しい価値を創造し、付加価値を高め、他地域との差別化を図り、世界に発信することにより、福井のファンを育成する（創客）こととなります。福井のファンが本県を訪れたいと考える、 “福井らしさ”を活かし、誘客につなげたいと考えており、当計画の策定の趣旨としました。</p>
2	<p>基本理念をあらわす図について、上記でも述べているが、特定の分野との連携だけではなく、教育、福祉、医療等、間接的な影響が生まれる分野との連携も描いてはどうか。社会課題に文化芸術でアプローチすることで、社会的コストの削減につながることは、他県の事例でもある。</p>	<p>基本理念を表すイメージ図については、記載の分野を特定するものではなく、地域経済の発展につながる分野の例示として、まちづくり、産業、観光、国際交流を挙げています。</p> <p>なお、今回策定するプランの計画期間中に、特に重点を置いて、教育、福祉、国際交流、観光、産業などと様々な分野との有機的な連携を図り、7つの施策を推進していきます。いただいたご意見のとおり、文化芸術を活用したプロジェクト型の県民主体の活動を活発にすることにより、社会全体で捉えたコスト削減につながっていくものと考えています。</p>
3	<p>広く文化芸術が対象のはずですが、すでに県立文化施設をもつ音楽、美術分野を中心とした施策が多いように思う。それ以外の分野においてはどのようにさまざまな主体が連携をとっていくのか、拠点となる館の整備や専門スタッフの配置を望みます。</p>	<p>本プランが対象とする範囲は、文化芸術基本法が対象とする範囲を基本としつつ、本県の文化の特性を形づくる事柄を広く対象としています。</p> <p>いただいたご意見のように、県内には多彩な文化芸術活動があります。様々な主体に寄り添い、活動への助成、助言、情報提供等の伴走型支援を行うとともに、教育、福祉、観光などその他の関連分野との連携・協働を促すことができるよう、文化芸術活動に関する知見を有する専門スタッフを配した体制を、現在の県立文化施設内に整え、対応したいと考えています。</p>
4	<p>計画の推進にあたり、とくに県と各市町がどのように連携・協働していくのか。ある程度具体的な役割分担のイメージを示したほうがよいのではないかと。県の文化振興プランが示されたあと、各市町でもこれに基づいたプランの策定や見直しが行われることになるかと思う。</p>	<p>最も住民に近い行政機関である市町には、地域の特性にあわせて住民の文化芸術活動を支援することや、有形・無形の文化財や伝統芸能など地域の文化の保存・継承、活用を主体的に取り組んでいただくよう、本プランにもその旨を記載しています。</p>

5	<p>計画の推進体制における県民の扱い方、文化を示す範囲が広く、誰にも当てはまらない印象。そもそもこの文化振興プランは、無関心者（関心のない人）を初心者に引き上げようとするのか、超初心者（少し興味があるけど手つかず）を啓蒙しようというのか、どの辺りを狙いとしているのか。</p>	<p>本プランは、本県の文化の特性を形づくる事柄を広く対象としており、多様な文化芸術に関わる県民一人ひとりの自発的、主体的な活動を促していく施策の方向性をまとめたものです。県の役割としては、文化芸術活動の主体である県民の自発的な活動を応援し、発展させるとともに、県民すべてが文化芸術を身近に感じることができる環境を整えることを基本としています。</p> <p>例えば、興味を持ってはいるものの文化芸術活動の実践には至っていない県民に対しては、文化施設や教育機関、市町などと連携し、活動を始めるきっかけとなる施策を展開することにより、文化芸術活動の裾野を広げたいと考えています。</p>
6	<p>文化芸術の振興や活用に知見を持つ専門スタッフを配するだけでなく、行政や文化関係の団体と、様々な分野の企業や団体などで構成される組織を設けて、県全体で計画を推進すべきではないか。</p>	<p>本プランの推進にあたっては、県と（公財）福井県文化振興事業団や教育機関、企業、市町など、様々な主体と連携しながら、総合的・計画的に文化芸術施策を推進することとしています。</p>
7	<p>各重点プロジェクトの具体的な内容、タイムライン、スケジュールまで落とし込んだ第二、第三の公開を望む。</p>	<p>本プランは向こう5年間の文化振興に関する方針等示すものであり、「重点プロジェクト」として記載した個々の施策については、各年度の予算において具体化・実行したいと考えています。</p>
8	<p>資料編のアンケート結果がどれを見ても寂しいものばかりだった。実践者、施設、文化財保護など要素が多岐にわたるので、プランの骨子をどこかに据えて5年間しっかり伸ばす、という集中でもよいと思う。</p>	<p>本プランの基本理念の実現に向けては、課題は多岐にわたっており、多面的、長期的に取り組むことが必要と考えています。有識者や関係者から意見をいただきながら、着実に成果につながるよう施策を推進していきます。</p>

目指す姿1 誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井

No	意見	意見に対する県の考え方
9	<p>「文化」は「伝統」を礎とするものであるため、振興を目的とするのであれば、伝統に誇りを持つマインドが必要。そのための「教育」（幼少期からの）の重要性を認識して、教育現場のさらなる実践が必要だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、教育の重要性は認識しており、郷土への愛着と誇りの醸成を図るための学校での「ふるさと教育」を推進しています。今後は、教育機関との連携を強化し、県立文化施設での鑑賞・体験機会の一層の充実を図ります。また、地域においても、文化芸術活動実践者との連携強化により、地域においても伝統文化等を体験できる機会を拡充していきます。</p>

10	<p>実践者を増やすことも良いが、鑑賞する人、鑑賞力への働き掛けも大事だと思う。鑑賞者、参加者の育成、啓蒙と施策を盛り込んでほしい。</p>	<p>対話型鑑賞の普及や、アート作品を介して様々な世代や立場の人をつなぐ人材「アート・コミュニケータ」の活動促進等により、文化芸術活動を支える鑑賞者の育成を強化するとともに、鑑賞者等と表現者（アーティスト）の交流機会を創出し、文化芸術活動へのさらなる参加促進を図ります。</p> <p>文化の底上げを図ることができるよう、ご指摘いただいた表現者・鑑賞者の育成や相互の交流促進を含め、県立文化施設のあり方や必要な機能の拡充について、有識者や関係者の意見をもとに検討を進めます。</p>
11	<p>作る方、発表する方への支援以外に、福井に来る観客側への支援として、考えられることはないか。例えば「多言語化による情報共有」をしていくことで、イベントのスケールに関係なく、新しい出会いや対話が生まれやすくなり、未来への発展つながると思う。広く長く実施するためには経費や作業が増えるが、採択される文化芸術活動に対して、文脈や内容などのキメ細かいところまで「見ていただける機会」を多く作ることは、長い目で見てプランの強化になると思う。</p>	<p>本県を訪れる外国人に対応できるよう、県立文化施設において、音声ガイドや表示等の多言語化などの環境整備を進めています。</p> <p>また、県内の様々な主体が実践する文化芸術活動についても、外国人など多様な鑑賞者に配慮できるよう、鑑賞者支援の取組みをアート・プロジェクト支援の助成対象としています。今後、文化芸術活動実践者への周知を図るとともに、広く長く実施できるよう支援策を検討します。</p>
12	<p>芸術作品だけでなく、音楽や演劇でも「本物を観る」機会が福井にはない。商業的なものや芸術作品といっても佳作レベルな展覧会もある。本物に触れる機会を創出していただきたい。他県交流の案を入れてほしい。</p>	<p>県文化施設では、随時、県民が本物の文化芸術に触れる機会（例えば、世界的なオーケストラによる公演や名画・名作と認められた美術作品の展覧会など）を提供しています。また、国内外の博物館や美術館などとの連携企画による質の高い特別展も開催しています。</p> <p>今後、特別展などの機会に合わせた特別な体験コンテンツの充実を図るなど、より多くの方が本物に触れることができる機会を拡充します。</p>

13	<p>文化芸術に触れることは、子供達の豊かな感性を育むとともに、生活に潤いをもたらす。</p> <p>一方、福井県は幸福度日本一と言われるが、実感が伴っていないという声も多いように思う。</p> <p>そのため、日常生活で身近に文化芸術に触れる機会を多く作るべきと考える。</p> <p>例えば、会社の様々なスペースに地元の作家が描いた絵を飾る運動を行ってはどうか。色々な会社に当たり前のように絵が飾られることで、親世代が文化芸術に触れる機会が増え、子供に同様に触れさせようと思ひ、各家庭にも絵を飾る機運が高まるかもしれない。このように、県民の生活の中に文化芸術があることが当たり前となり、心から幸福度日本一を実感できる福井県になってほしいと思う。</p>	<p>県民が身近に文化芸術に触れ、楽しさや感動を得ることは、精神的な安らぎや生きる喜びとなり、心豊かな暮らしを実現するうえで大切なものです。</p> <p>今後、本プランに基づき、多様な文化芸術に関わる県民一人ひとりの自発的、主体的な活動を促し、その活動を発展させるとともに、誰もが身近に感じることが出来る環境をさらに整えていきます。</p> <p>いただいたご意見のように、会社や店舗など県民が日頃何気なく目にするスペースに絵を飾ることが当たり前になるよう、例えば、企業等の寄付や投資活動と県内アーティストの作品購入をつなげるしくみをつくるなど、社会全体で取り組んでいきたいと考えています。</p>
----	--	--

目指す姿2 みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井

No	意見	意見に対する県の考え方
14	<p>「施策の方向性4」の「地域の文化の振興」について、圧倒的な価値のあるはずだった物が、現代のどこにでもあるビル開発で埋め立てられ消え去る、福井城の下馬門のような事例がある。全く反対のことをやってしまったわけで、これは戒めとする部分。</p>	<p>福井城址をはじめ、県内各地の豊かな地域の文化は、一つ一つが独自の価値を持つだけでなく、福井らしさを物語るものとして、地域の誇りや愛着を深めることにつながります。市町等とともに、地域の文化の価値の一層の理解を図り、保存・活用策を検討し、必要な支援措置を講じていきます。</p>
15	<p>中学校、高校で芸術に触れる教育時間が削られており、養うべき教養部分が欠落している。教育担当部局とどのように連携していく予定か。</p>	<p>学校の美術や音楽の授業は、次代の文化芸術を担う人材を育成するために大変重要です。学校教育の担当部局と情報交換を密にし、学校が活用しやすい体験プログラムを充実するとともに、学校外での体験機会についても拡充し提供するなど、相互に補い合いながら創造性豊かな人材の育成を図っていきます。</p>
16	<p>本県には、芸術系大学がない。いまから大学を創設するのは大変なので、県外の音大や美大など芸術系大学の教授などに協力を得て、大学のような組織「アカデミー」を作り、県外や世界へ羽ばたく若手アーティストを育成するとよい。</p>	<p>県では、様々な事業実施にあたり、これまで県内外で活躍する芸術系大学の教授や芸術関係の有識者の協力を得ていますので、こうした関係を活かしつつ、アーティストを志す子どもたちや、本県で活躍するアーティストのさらなる飛躍を応援できるしくみの創設を検討します。</p>

目指す姿3 文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井

No	意見	意見に対する県の考え方
17	<p>少子高齢化等、様々な社会課題が山積し、成熟社会と言われる日本においては、メセナよりも「ESG経営」「パーパス経営」が企業にとって当たり前になってきている。そういった中で、企業と顧客が共に価値をつくる「共創価値マーケティング」が主流ともいえる。文化芸術によって社会を支援する取り組みは、企業側にもメリットがある。社会包摂につながる芸術活動を行うことは、企業側も社会の側も、新たな価値をつくることにつながるのではないか。</p>	<p>地域の活性化につながる県民の主体的な文化芸術活動を応援することとあわせて、文化芸術を活用し社会課題の解決のために活動する企業を増やしていきたいと考えています。</p> <p>メセナ活動の意義や効果についての企業の理解を深めるセミナーや関心の高い企業のネットワークづくりを行うほか、企業のメセナ活動を顕彰するアワード創設を行うなど、県民と企業の新たな価値共創につなげたいと考えています。</p>
18	<p>越前焼や越前和紙などの伝統工芸産地と県立文化施設との連携による他の地域にはない新たな観光コンテンツの開発については、ぜひやってほしい。京都など、伝統工芸を守るだけでなく、現代アートへ昇華している事例をよくテレビで見かけるが、ぜひ福井でもやってほしい。</p>	<p>今後、新しい商品の開発や県内アーティストの活躍の場が広がるよう、伝統工芸を含む企業とアーティスト、デザイナーとのビジネスマッチングの機会を拡充するとともに、産地の活性化につながる新しい観光コンテンツづくりを産業振興策とあわせて検討します。</p>
19	<p>実践者の場合、そのレベルの引き上げ（質や志向そのものを引き上げるような施策）がないと、公民館レベルで終わり、それがアートというイメージがついてしまう。</p>	<p>文化芸術の振興や活用に知見を持つ専門スタッフを配し、実践者に寄り添いながら活動を支援する体制を整備し、相談・助言・効果的なマッチングなどを行います。また、各芸術分野の専門家である芸術文化アドバイザーによる相談対応、情報提供を行うなど、活動レベルの向上を図ります。</p>
20	<p>震災に見舞われた奥能登や新潟県では、地域と連携した芸術祭を継続的に開催し成功している。</p> <p>本県でも、毎年でなく同じようにトリエンナーレでいいので、国際芸術祭の開催を検討してもらいたい。</p> <p>1月に開催された、子ども、障がい者、現代アートの展示が素晴らしかったので、それらをテーマに国際芸術祭としてやってはどうか。県外や国外からも人を呼び込め地域活性化につながる。</p>	<p>ご意見のとおり、近年、地域の新たな価値創造・発信を目的とした芸術祭やアートフェスティバルが各地で開催され、観光誘客や関係人口の増加による地域活性化の効果が生まれています。</p> <p>一方、県内では、永平寺町での「ZEN AIR」や若狭町での「熊川芸術祭」といった、アーティスト・イン・レジデンスや、ご意見にある子ども、障がい者、現代アートの展示「まるまるつながるアート展まる」を開催し、好評を得ました。こうした本県独自の取り組みをさらに発展させる形での国際的芸術祭の開催を検討していきます。</p>